

Information

第21回日本精神保健社会学会 学術大会

日時▶11月23日(月・祝)10:00~17:00

会場▶筑波大学東京キャンパス文京校舎
119教室(東京都文京区)

テーマ▶見捨てた社会での共存を求めて

プログラム▶第1部:学会員によるポスター発表/第2部:シンポジウム「見捨てた社会での共存を求めて」服部万里子(日本ケアマネジメント学会,立教大学),李貞淑(在日本大韓民国民団,全国心理業連合会),栗林知絵子(豊島子どもWAKUWAKUネットワーク)

参加費▶会員3000円,一般4000円(いずれも第2部のみ2000円),学生2000円

申込・問い合わせ先▶事務局

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1
帝京大学宇都宮キャンパス 滝澤(武)研究室

☎/FAX 028-627-7188

✉ info@jamhs.org

http://jamhs.org/

勇美記念財団設立15周年記念 第11回在宅推進フォーラム

日時▶11月23日(月・祝)9:00~16:25

会場▶東京ビッグサイト国際会議場(東京都江東区)

テーマ▶住みなれた街で最期まで

プログラム▶全国11ブロックフォーラム
報告会「挨拶・活動報告」新田國夫(日本在宅ケアアライアンス,全国在宅療養支援診療所連絡会)/「在宅医療に歯科はどう関わるか」原龍馬(全国在宅療養支援歯科診療所連絡会)/特別講演「あらゆる政策に地域包括ケアの推進を—在宅医療の視点を活かして(仮)」武田俊彦(厚生労働省:予定)/市長サミット「地域包括ケア確立のため 市町村トップはこう動く」佐藤一夫(国立市長),田辺信宏(静岡市長),森雅志(富山市長),辻哲夫(東京大学高齢社会総合研究機構)/シンポジウム「患

者・家族が『よかった』と言える在宅医療のために」基調講演①大竹伸子(市民),②瓦井千寿(市民),パネルディスカッション「住みなれた街で最期まで」惣田晃(横須賀市健康部地域医療推進課),鈴木邦彦(日本医師会),深井穂博(日本歯科医師会),苛原実(全国在宅療養支援診療所連絡会),齊藤訓子(日本看護協会),轡基治(日本薬剤師会),鷺見よしみ(日本介護支援専門員協会)

定員▶1000名(先着順)

参加費▶無料

申込方法▶住所(聴講券送付先),氏名,電話番号,FAX,E-mail,参加人数,お弁当引換券(無料)の数を明記の上,参加人数が複数の場合は代表者がホームページまたはFAXにて申し込む

申込・問い合わせ先▶事務局(磯崎,中山)
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-1
全共連ビル麹町館

☎ 03-5226-6266(平日9:00~17:30)

FAX 03-5226-6269

✉ yuumizaidan-forum2015@mbr.nifty.com

http://www.zaitakuiryo-yuumizaidan.com

第5回日本リハビリテーション 栄養研究会学術集会

日時▶11月28日(土)10:00~17:40

会場▶県立広島大学広島キャンパス(広島市)

テーマ▶「食べたい」を支える

プログラム▶特別講演①「口から食べることをサポートするための包括的支援スキル」小山珠美(口から食べる幸せを守る会,神奈川県厚生連伊勢原協同病院)/②「摂食嚥下の解剖とメカニズム」里田隆博(広島大学大学院)/③「(演題未定)」東口高志(日本静脈経腸栄養学会,藤田保健衛生大学)

参加費▶(当日)7000円,学生2000円(社会人学生・大学院生を除く)

申込方法▶下記ホームページ申込フォームより

申込・問い合わせ先▶第5回日本リハビリ

テーション栄養研究会学術集会本部

〒731-3164 広島県広島市安佐南区伴東
7-9-2 日比野病院(助金淳)

☎ 082-848-8489

FAX 082-848-1308

✉ reha@hibino.or.jp

http://5th-jarn.jp/contact

日本赤十字看護大学 2015年度フロンティアセミナー

日時▶12月19日(土)13:00~16:00

会場▶日本赤十字看護大学201講義室

参加費▶1000円(当日受付にて)

テーマ▶シームレスな人材育成をデザインする(Part III)—現場で教育に関わる看護職者育成における大学と病院の協働

プログラム▶基調講演「現場で教育に関わる看護職者育成における大学と病院の協働」佐々木幾美(日本赤十字看護大学)/実践報告①「急性期病院における『高齢者看護コース』立案上の課題」窪田裕子(日本医科大学武蔵小杉病院),②「急性期病院における『高齢者看護コース』立案への大学の支援」坂口千鶴(日本赤十字看護大学)/ディスカッション

申込方法▶氏名・所属先を下記宛にメールまたはFAXのこと

申込締切▶12月4日(金)

申込・問い合わせ先▶日本赤十字看護大学
地域連携・フロンティアセンター

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

☎ 03-3409-0875

FAX 03-3409-0589

✉ frontier-seminar@redcross.ac.jp

2015年度 訪問看護eラーニング

申込期間▶~11月30日(月)

受講可能期間▶ユーザID,パスワード配信
日から5か月間

受講方法▶インターネットを利用した通信
教育

内容▶「新たな訪問看護研修ステップ1」
に準じた訪問看護に関する基礎的内容(訪

問看護概論，訪問看護対象論，訪問看護展開論，在宅ケアシステム論，訪問看護技術論，訪問看護管理論）

※「訪問看護 e ラーニング」修了者には、「訪問看護 e ラーニング」修了証書を発行する。また、「訪問看護 e ラーニング」修了後，所定の実習を実施した者には「訪問看護研修ステップ1」の修了証書を発行する。詳しくは下記ホームページ参照

受講料▶〈個人申込〉1 万 5000 円，〈都道府県看護協会申込〉1 万 3000 円（訪問看護師養成講習会に訪問看護 e ラーニングを活用する都道府県看護協会のみ）

申込方法▶〈個人申込〉下記ホームページより申込，〈都道府県看護協会申込〉各都道府県看護協会の定めによる

申込・問い合わせ先▶日本訪問看護財団「訪問看護 e ラーニング」ヘルプデスク

☎ 03-5860-5322

✉ support@netlearning.co.jp

<http://www.jvnf.or.jp/>

2015 年度勇美記念財団 「在宅医療助成」公募（後期）

●一般公募

テーマ▶在宅医療研究への助成（在宅医療の推進を通じて，地域における医療福祉および公衆衛生の向上を目指すために現場医療従事者からの研究を特に期待）

助成金額▶4000 万円（件数未定）

●テーマ指定公募①

—市民の集い開催への助成

テーマ▶「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に

※参考資料「市民講座収録 DVD」貸出可

助成金額▶750 万円（1 件の上限 30 万円）

●テーマ指定公募②

テーマ▶地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成

※一事業所内の研修会は対象外

助成金額▶1250 万円（件数未定）

●テーマ指定公募③

テーマ▶在宅医療推進のための学会等への共催

※在宅医療に関する学会，学会内プログラ

ムなどに共催として参加

助成金額▶750 万円（件数未定）

【以下共通】

公募期間▶12 月 11 日（金）消印有効

詳細▶<http://www.zaitakuiryoyu-mizaidan.com>

問い合わせ先▶事務局（助成事業担当：磯崎）

☎ 03-5226-6266

✉ yuumizaidan@nifty.com

<http://www.zaitakuiryoyu-mizaidan.com/main/jyosei.php>

2016 年度 木村看護教育振興財団 助成事業応募者募集要綱

●看護研究助成

助成対象▶下記研究分野における看護の質的発展・充実が期待できる先駆的研究で，療養環境に関わる研究など，臨床の役に立つ未発表のもの

対象分野▶基礎看護，成人看護，老年看護，小児看護，母性看護，精神看護，地域看護，在宅看護，看護管理，看護教育，その他

応募資格▶日本在住の看護職者で，臨床・地域看護に従事している個人，または前者を共同研究者に含むグループであること

※名前だけの看護職者の共同研究者は不可
応募要件▶教員・大学院生のための申込は対象外，倫理的に許される研究であること，関係所属長の許可・推薦があること，研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額▶1 件につき 100 万円を限度とする

●専門看護師（CNS）奨学金助成

支給対象者▶看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程 2 年コースの 2 年次進級予定者で，下記①および②を満たしている者

①日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給条件▶看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し，修学中の者で同課程修了

後，専門看護師として必ず資格認定を受け，認定された看護専門分野の臨床に 2 年以上就業することを確約できる者。ただし，支給条件に反した場合には，奨学金の返還を求めるものとする

支給額▶年額 60 万円

支給期間▶1 年間（4 月から翌年 3 月まで）

●海外看護研修助成

研修先▶メイヨークリニック（米国ミネソタ州ロチェスター）

研修期間▶2016 年 9 月中旬から渡航日数を含めて約 3 週間

研修内容▶研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義，実習および見学による研修

応募資格▶下記①～⑤のいずれにも該当する者

①日本在住で看護師，助産師，保健師のいずれかの資格を持っていること

②看護実務経験が 5 年以上あり，現在，臨床の現場に従事している者

③心身共に健康であること

④関係所属長の推薦があること

⑤TOEIC600 点以上または TOEFL の所定の点数（CBT173 点以上又は IBT61 点以上）を持っていること（研修には通訳は付かないので，日常会話と看護の専門分野の英語力が必要）

募集人数▶10 名

助成の範囲▶研修費，宿泊費，成田空港発着の往復渡航費

【以下共通】

応募方法▶ホームページより申込用紙をダウンロードし，必要事項を記入の上，申込先へ送付のこと

募集期間▶2016 年 1 月 22 日（金）まで

申込・問い合わせ先▶公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 本郷竹下ビル 8 階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

<http://www.nurseed.jp/>